

選挙と投票率

県内の各種選挙の投票率は全体で40%から50%台という低いレベルまで下がっており、特に若者の投票率は低く、20代は30%前後にとどまっています。

また、令和4年に実施された参議院議員通常選挙では、静岡県内の10代(18歳・19歳)の投票率は34.43%と、20代に次いで低くなっています。(下の年代別投票率グラフを参照)

少子高齢化の中、数少ない若者の声を政治に届けるにはこれで十分でしょうか？

2022年度から高等学校の必修科目に「公共」が新設されるなど、皆さんには、多様化していく社会の主演となって、活躍していくことが期待されています。

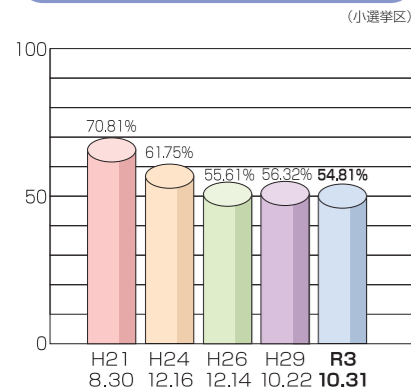
今のうちからニュースなどで政治や選挙の情報をキャッチし、自分の考えを持つように心がけましょう。



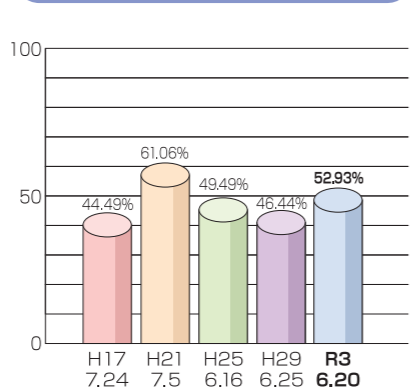
一票の力は、小さくない。

■最近の投票率の推移(県内)

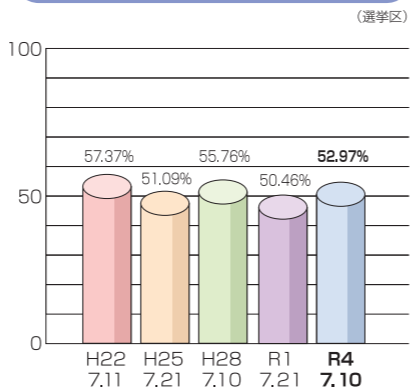
衆議院議員総選挙 (小選挙区)



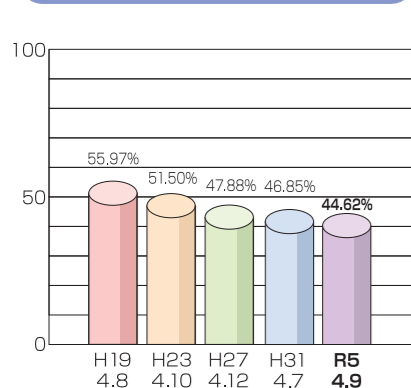
県知事選挙



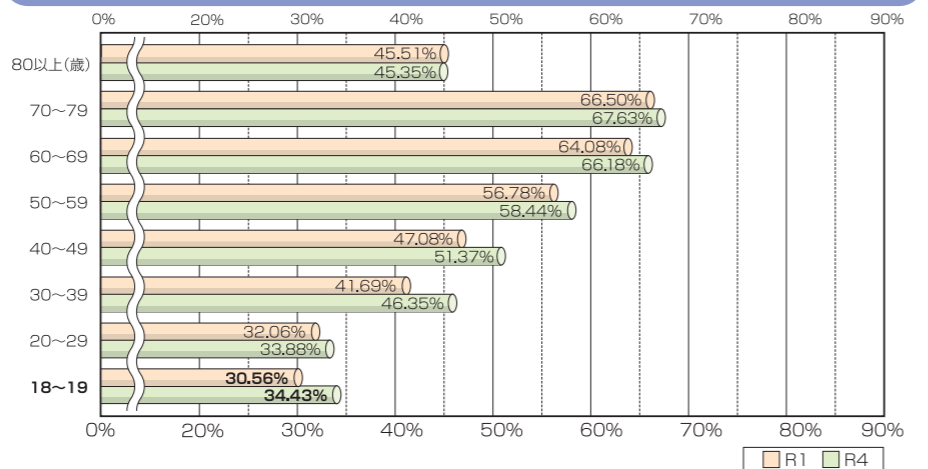
参議院議員通常選挙 (選挙区)



県議会議員選挙



参議院議員通常選挙(選挙区) 静岡県の年代別投票率 (注) 抽出調査による数値のため、実際の投票率との誤差がある。

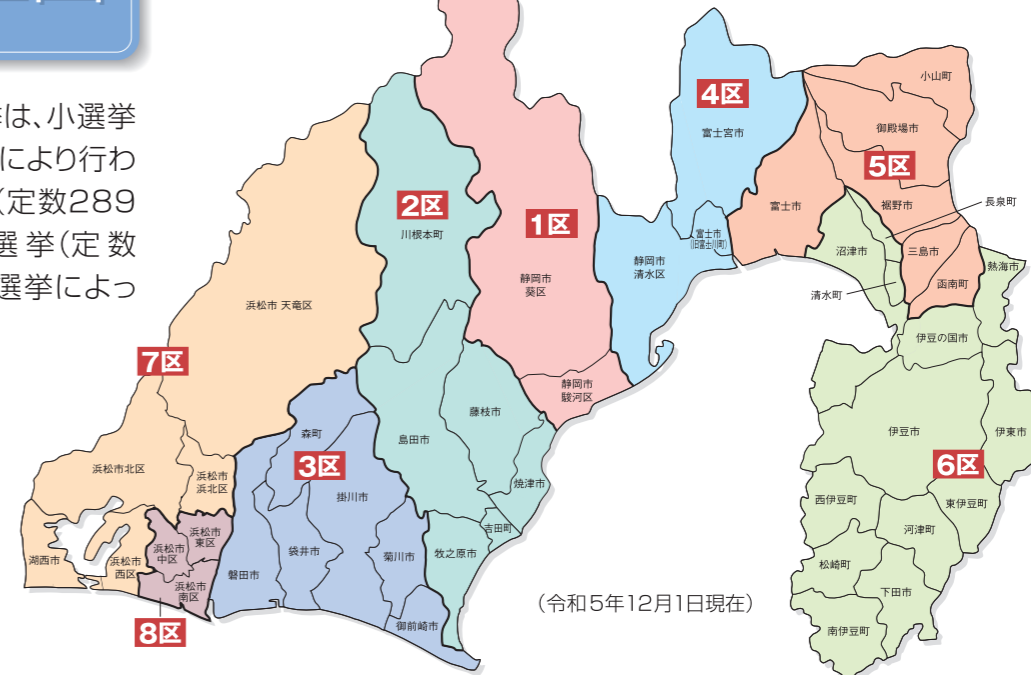


衆議院議員選挙選挙区図

衆議院議員の選挙は、小選挙区比例代表並立制により行われ、小選挙区選挙(定数289人)と比例代表選挙(定数176人)の二つの選挙によって議員を選びます。

■静岡県における小選挙区の区割り

※区割りの改定が令和4年12月28日に行われ、下の選挙区図はその日以降初めて期日を公示される衆議院議員総選挙から適用されます。区割りの改定の結果、複数選挙区に分割されていた8市区(静岡市葵区・駿河区・清水区、浜松市中区・南区・天竜区、御前崎市、伊豆の国市)について分割が解消されました。



■比例代表選挙の選挙区と各選挙区別定数(定数176人)

※定数の改正が令和4年12月28日に行われ、右の選挙区別定数は、その日以降初めて期日を公示される衆議院議員総選挙から適用されます。

